

第39回愛媛出版文化賞は応募総数54点の中から部門賞と奨励賞計6点を選んだ。
選定理由を紹介する。

【選定委員】

- | | | |
|----------------|--------------|--------|
| 第1部門 (研究・評論) | 愛媛大学学長 | 仁科 弘重氏 |
| 第2部門 (美術) | 和歌山県立近代美術館館長 | 山野 英嗣氏 |
| 第3部門 (文学) | 松山東雲女子大学学長 | 高橋 圭三氏 |
| 第4部門 (その他文化全般) | 松山大学学長 | 新井 英夫氏 |

部門賞

「続 市之川鉦山物語」 田邊 一郎著

調査成果 高い学術的価値

第1部門には11作品の応募があった。第1部門は、さまざまな領域の自然科学、社会科学に関する研究評論を対象としているため、現地や文獻による調査の結果やデータ、論理的考察に基づいた学術的価値があることを、作品の評価指標の一つとした。

このような視点から応募作品を評価した結果、部門賞には「続 市之川鉦山物語」を選定した。本作品は、第32回の本賞第1部門で奨励賞を受賞した「市之川鉦山物語」の続編である。

著者の田邊氏は香川県坂出市生まれで、現在、埼玉医科大学特任教授(消化器内科)である。30年ほど前に新居浜市の愛媛労災病院に在職されていた時に、偶然出会った「輝安鉦」の魅力に感動し、以来、仕事の合間を縫って西条市の旧市之川鉦山に通って調査を続け、成果を発表されてきた。輝安鉦の鉦山は世界や日本に点在しているが、市之川鉦山は、大型の美麗な輝安

第1部門 研究・評論

奨励賞

「台湾の近代化に貢献した日本人」 古川 勝三著

3人の県人含む25人紹介

鉦結晶が産出されたことで知られている。本書には、世界の学者が市之川鉦山を訪れたことも記されており、市之川鉦山の価値の高さを示している。市之川鉦山の歴史の、学術的調査の成果を取りまとめた本書は、第1部門の部門賞に値すると考えた。

奨励賞には「台湾の近代化に貢献した日本人」を選んだ。著者の古川氏は宇和島市に生まれ、文部省(当時)海外派遣教師として台湾高雄日本人学校で勤務している。古川氏は在任している著書を多く出版しており、2018年には「愛媛台湾親善交流会」の設立にも関わっている。本作品は、台湾の発展に貢献した25人の日本人(愛媛県人3人を含む)について解説したものである。古川氏が現在も同会の会長であり、著作も含めて多くの活動を展開されていることから、奨励賞に値すると考えた。

(仁科弘重)

書名	著者・編集者	発行所、出版社、印刷所
宇和町多田地区の川の生きものハンドブック	菊地 由嘉、松田 久司、武智 礼央	多田エコグループたんぼぼ、豊予社
内子の川の生きものハンドブック	NPO法人内子未来づくりネットワーク、 監修・山本 栄治、武智 礼央	NPO法人内子未来づくりネットワーク、豊予社
続 市之川鉦山物語	田邊 一郎	現代図書、星雲社、モリモト印刷
生き抜く力を育てるために—地域教育のすすめ—	讃岐 幸治	NPO法人えひめ子どもチャレンジ支援機構、 アウルデザイン
足跡—愛媛 ニュ川の詩人 渡邊渡とその周辺—	佐藤 公平	愛媛新聞サービスセンター、アマノ印刷
台湾を愛した日本人Ⅲ —台湾農業を変えた磯永吉&末永仁物語—	古川 勝三	創風社出版、松栄印刷所
台湾の近代化に貢献した日本人	古川 勝三	創風社出版、松栄印刷所
人類存亡の時	山口 憲一郎	創風社出版、松栄印刷所
愛媛が生んだ進歩・革新の先覚者 —「よもだ」精神で読み解く中川悦良の歴史論考—	中川 悦良	創風社出版、松栄印刷所
ドロシー・ホジキン 女性ノーベル賞科学者の人生	著・ジョージナ・フェリー 共訳・田村 実、 ルース・キャロル・バージン	田村実、アトラス出版、不二印刷
評伝 仙波太郎	田所 軍兵衛、監修・仙波 実	まつお出版、ニホン美術印刷
	石村 喜成、編集・末尾 信子	